

◆ 普段のごみ出しについて

(2) ごみと資源の分別について

① 分別の取り組み状況

Q2 ごみと資源（缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属）を分別していますか。

※美原区は古紙類（新聞、雑誌、ダンボール、紙パック）を含む。

【分別の取り組み状況】

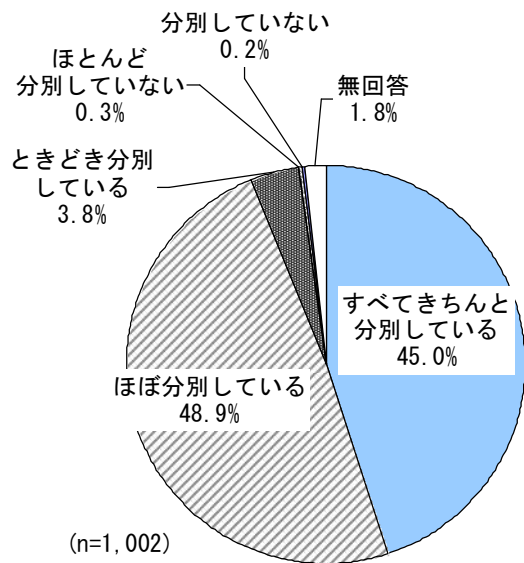
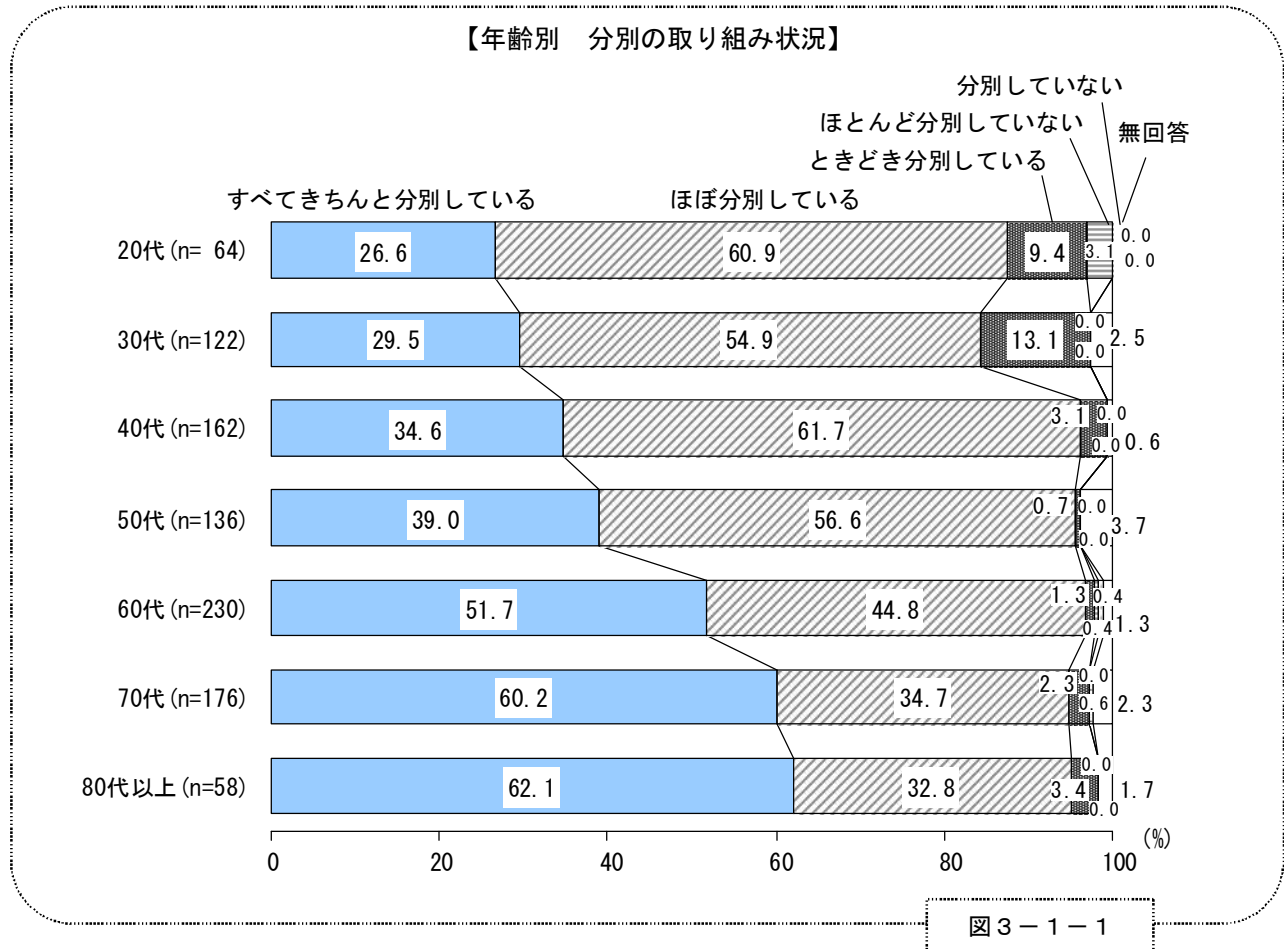


図3-1

ごみと資源の分別状況について取り組んでいる市民が9割を超えている。（図3-1）

年齢別では、「すべてきちんと分別している」の割合は、年代が上がるほど高くなり、60代以上の年代では半数を超えている。20・30代では「ときどき分別」しているが10%前後で、若い世代ほど分別を徹底している割合が低くなっている。（図3-1-1）



②分別の種類に対する満足度

■ Q 2において「すべてきちんと分別している」「ほぼ分別している」「ときどき分別している」のいずれかと答えた方にお聞きします。

Q 2-A 分別の種類（数）についてどう感じていますか。

【分別の種類に対する満足度】

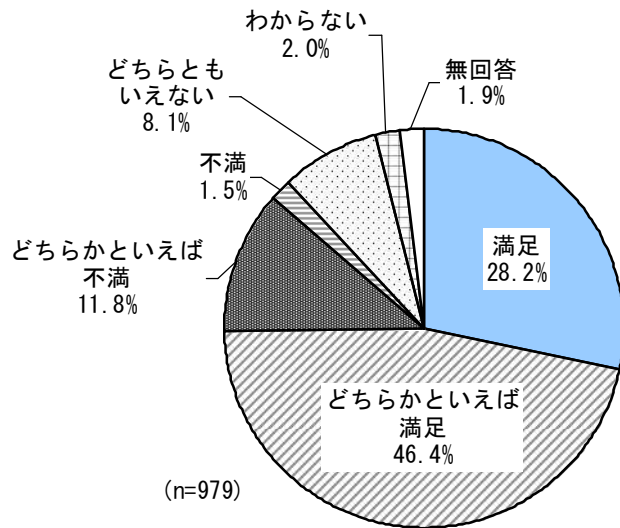


図 3-2

分別の種類については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人が7割を超えている。(図3-2)

年齢別では、「満足」「どちらかといえば満足」の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向にある。(図3-2-1)

【年齢別 分別の種類に対する満足度】

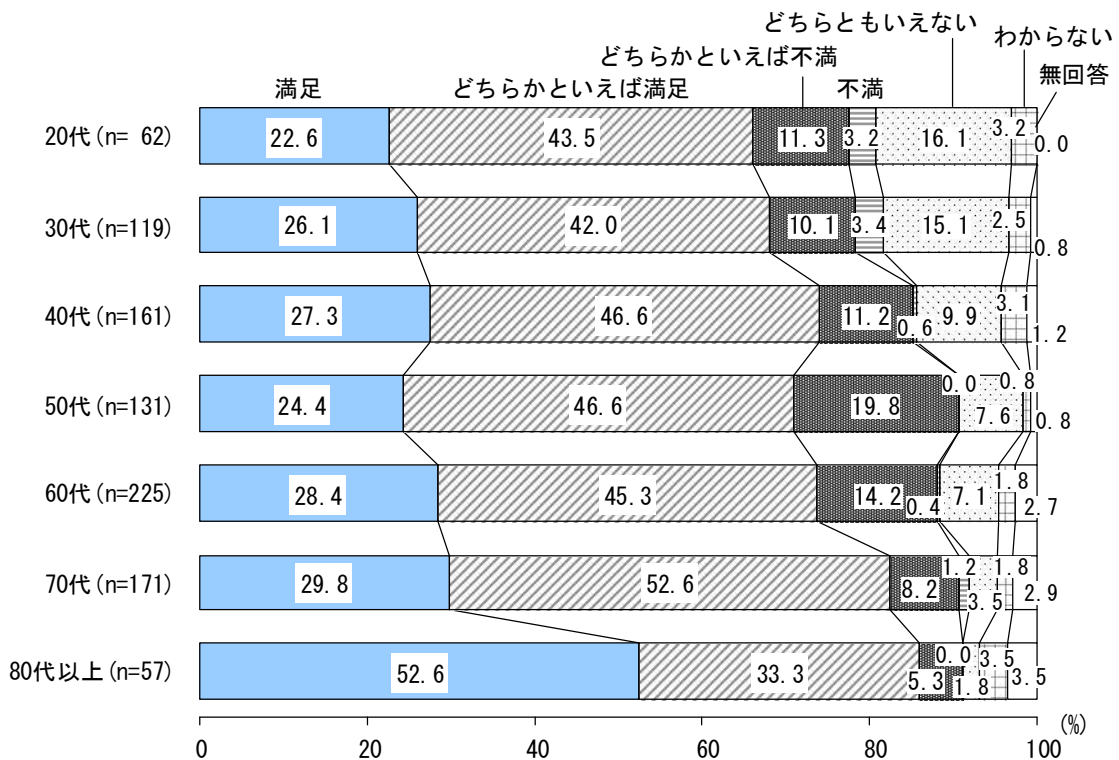


図 3-2-1

③分別の種類に対する不満理由

■ Q 2 - Aにおいて「どちらかといえば不満」または「不満」と答えた方にお聞きします。
 Q 2 - B その理由は何ですか。

【分別の種類に対する不満理由】

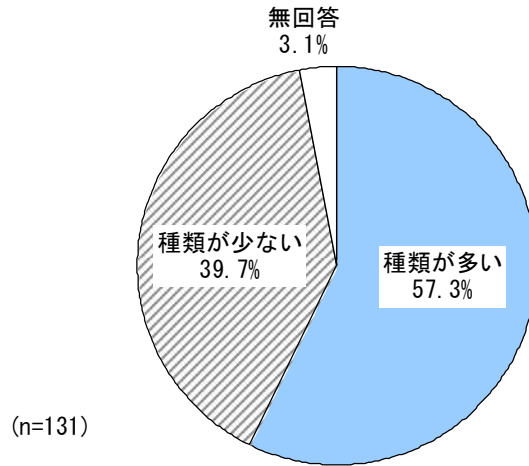


図 3 - 3

分別の種類に対して「種類が多い」と回答した人が5割を超えている。(図3-3)

年齢別では、「種類が多い」の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向にある。(図3-3-1)

【年齢別 分別の種類に対する不満理由】

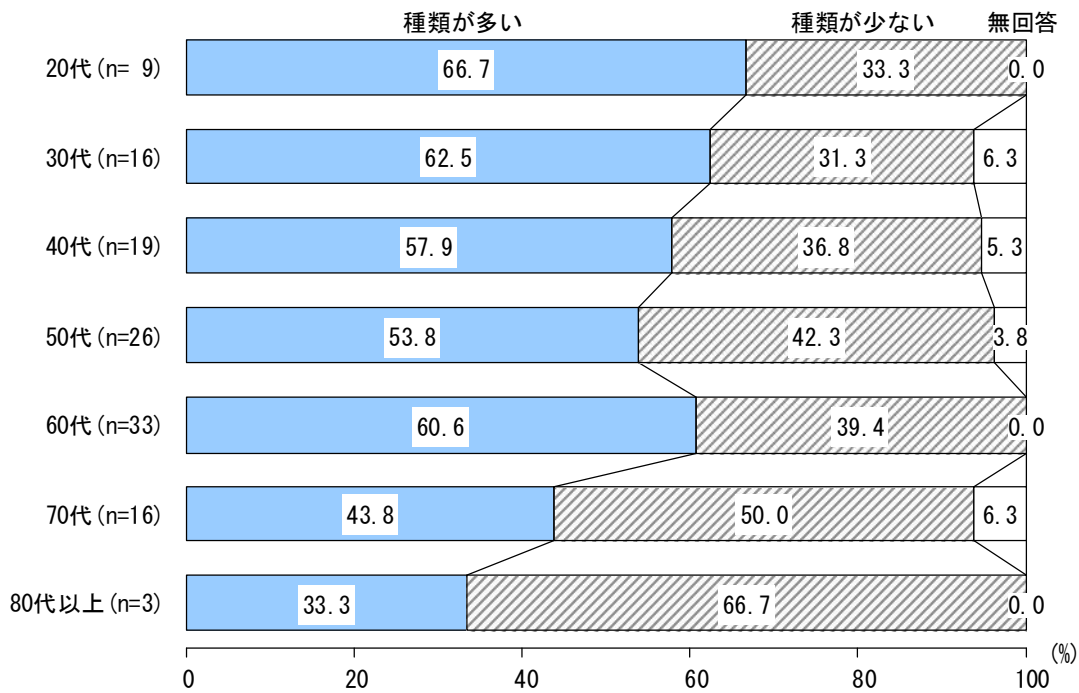


図 3 - 3 - 1

④増やすべき分別の種類

■ Q 2-Bにおいて「種類が少ない」と答えた方にお聞きします。

Q 2-C 何を増やすべきだと思いますか。

【分別の種類で増やすべきもの】

意見	件数
電池	43
新聞・雑誌	19
瀬戸物・食器・大きい鉢、皿	15
電球、蛍光灯	8
紙パック・牛乳パック	4
衣類・布	
紙類（包装紙など）	
植木鉢	3
傘	
段ボール	
空箱	2
鍋・フライパン・やかん	
廃食油	
割れたもの・瓶	1
油缶、油びん	
板ガラス	
インクカートリッジ	
金物	
かまぼこ板	
玩具	
薬のチューブ	
磁器類	
少し大きいプラスチック製品	
トイレトペーパーの芯	
生ごみ	
刃物	
ペットボトル	
ペットボトルのふた	
ライター	
その他（分別方法や分別に対する意見等）	22

表 3-4

分別の種類に対して少ないと回答した人に、増やすべきものについてたずねたところ、「電池」が43件で最も多く、次いで「新聞・雑誌」が19件、「瀬戸物・食器・大きい鉢、皿」が15件となっている。（表3-4）

⑤分別していない理由

■ Q 2において「ほとんど分別していない」または「分別していない」と答えた方にお聞きします。

Q 2-D 分別していない理由は何ですか。【複数回答可】

【分別していない理由】

(上段：件 下段：MA%)

調査数	倒手間 がかか るから 、面	い収 か集 らの 曜 日 が わ か ら な	わ分 か別 ら の 方 法 な い か ら （ 種 類 ） が	分 別 の 種 類 が 多 い か ら	と少 思 量 で あ れ ば 問 題 な い	い他 か の 人 も 分 別 し て い な	ルご み に 関 心 が な い か ら サ イ ク	そ の 他
5 100.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -

表 3-5

ごみと資源の分別状況で分別していないと回答した人に、その理由についてたずねたところ、「手間がかかるから、面倒くさいから」「収集の曜日がわからないから」「分別の方法（種類）がわからないから」がそれぞれ3件となっている。（表3-5）

(3) ごみの適切管理義務の認知度

Q3 ごみを排出してから収集車が収集するまでは、排出者がごみ（収集場所を含む）を適切に管理しなければならないことをご存知ですか。

【ごみの適切管理義務の認知度】

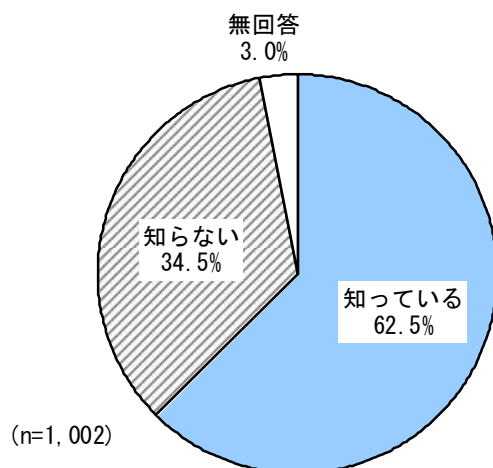


図3-6

排出者がごみを適切に管理する義務について、「知っている」が62.5%に対し、「知らない」は34.5%で、市民の3分の2には認知されている。(図3-6)

年齢別では、「知っている」割合は、60代以上の各年代で高い。

一方、「知らない」の割合は、30代が最も高くなっている。(図3-6-1)

【年齢別 ごみの適切管理義務の認知度】

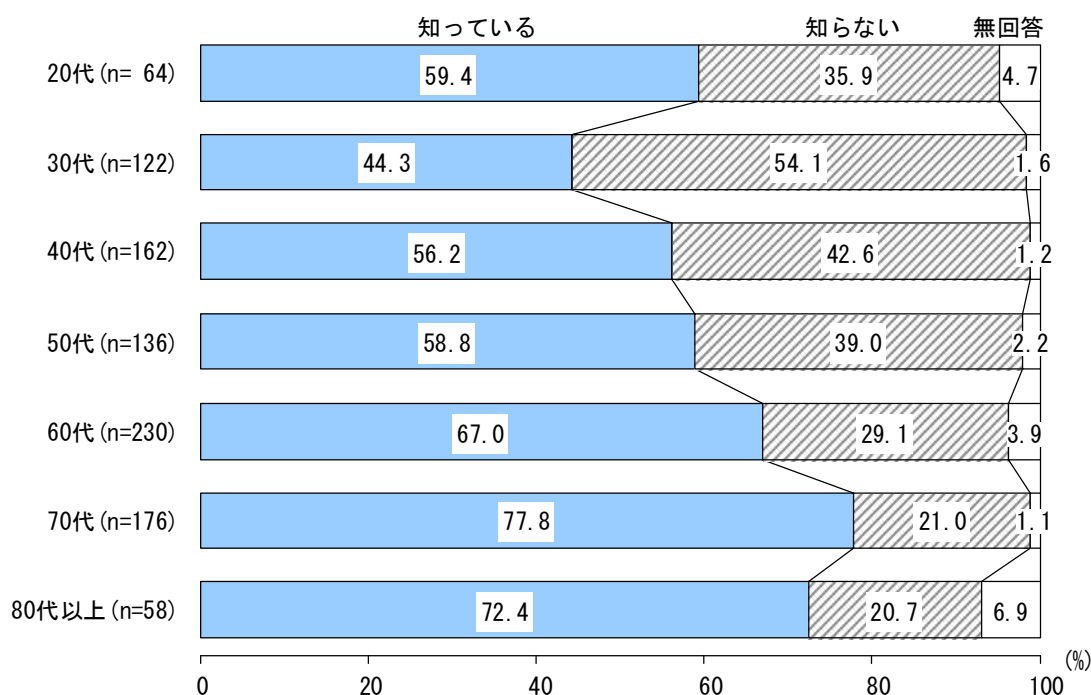


図3-6-1

(4) ごみの収集場所について

①ごみの収集場所

Q 4 あなたの家から排出されるごみの収集場所はどこですか。

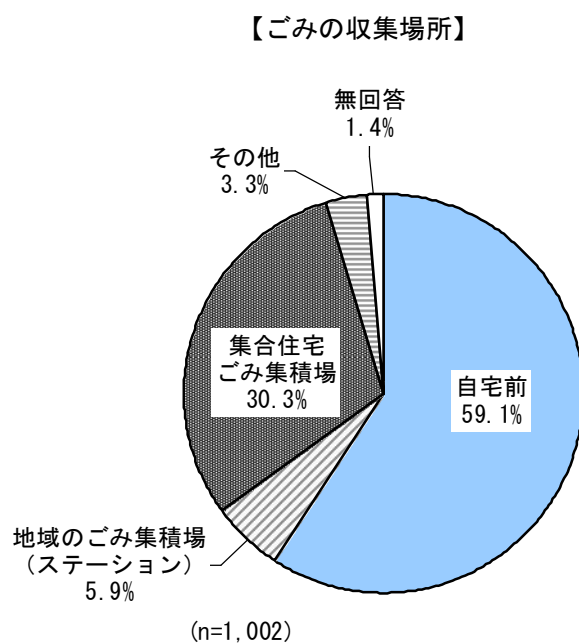


図3-7

ごみの収集場所は、「自宅前」が59.1%で最も多く、次いで「集合住宅ごみ集積場」が30.3%となっている。(図3-7)

②ごみの集積場での困りごと

■ Q 4において「地域のごみ集積場(ステーション)」または「集合住宅ごみ集積場」と答えた方にお聞きします。

Q 4-A ごみの集積場で、困っていることはありますか。【複数回答可】

【ごみの集積場での困りごと】

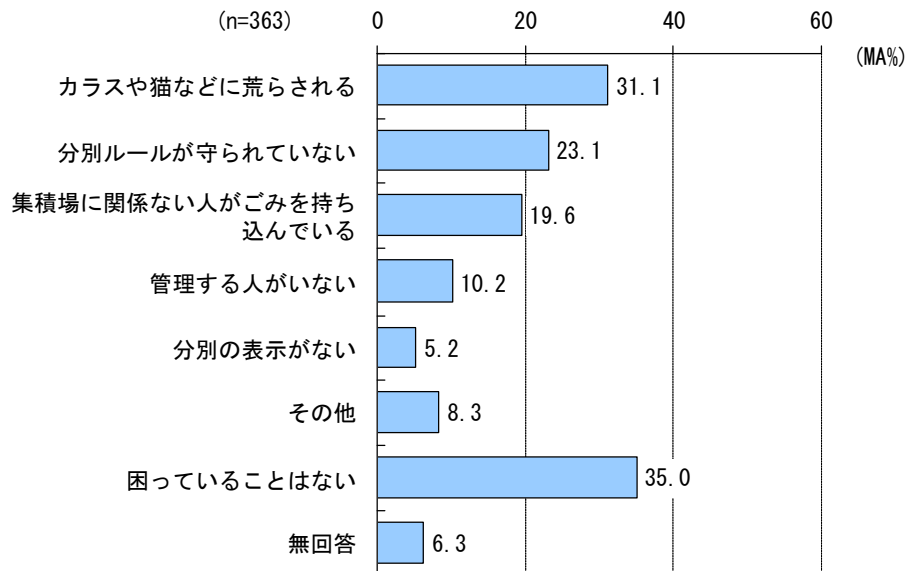


図 3-8

ごみの集積場について「困っていることはない」は35.0%に対し、困りごとでは「カラスや猫などに荒らされる」が31.1%と最も高く、次いで「分別ルールが守られていない」が23.1%となっている。(図3-8)

下図はごみの収集場所別に集計したものである。(図3-8-1)

【ごみの収集場所別 ごみの集積場での困りごと】

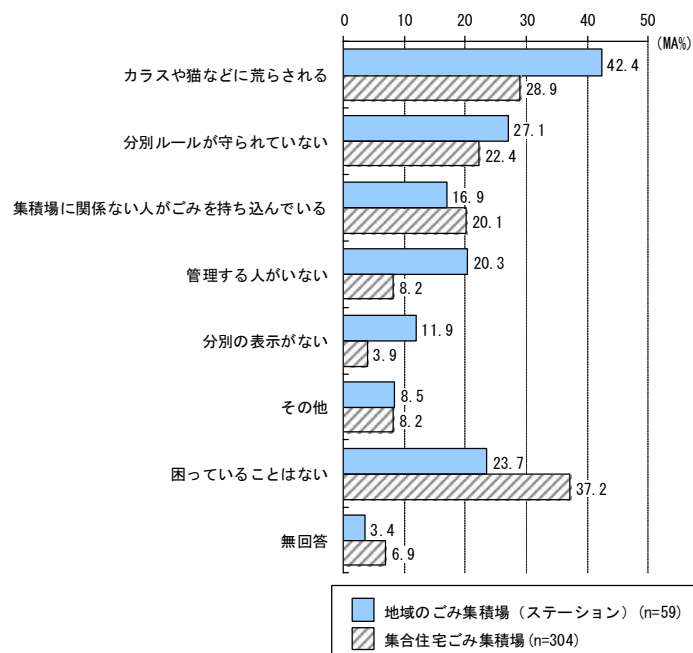
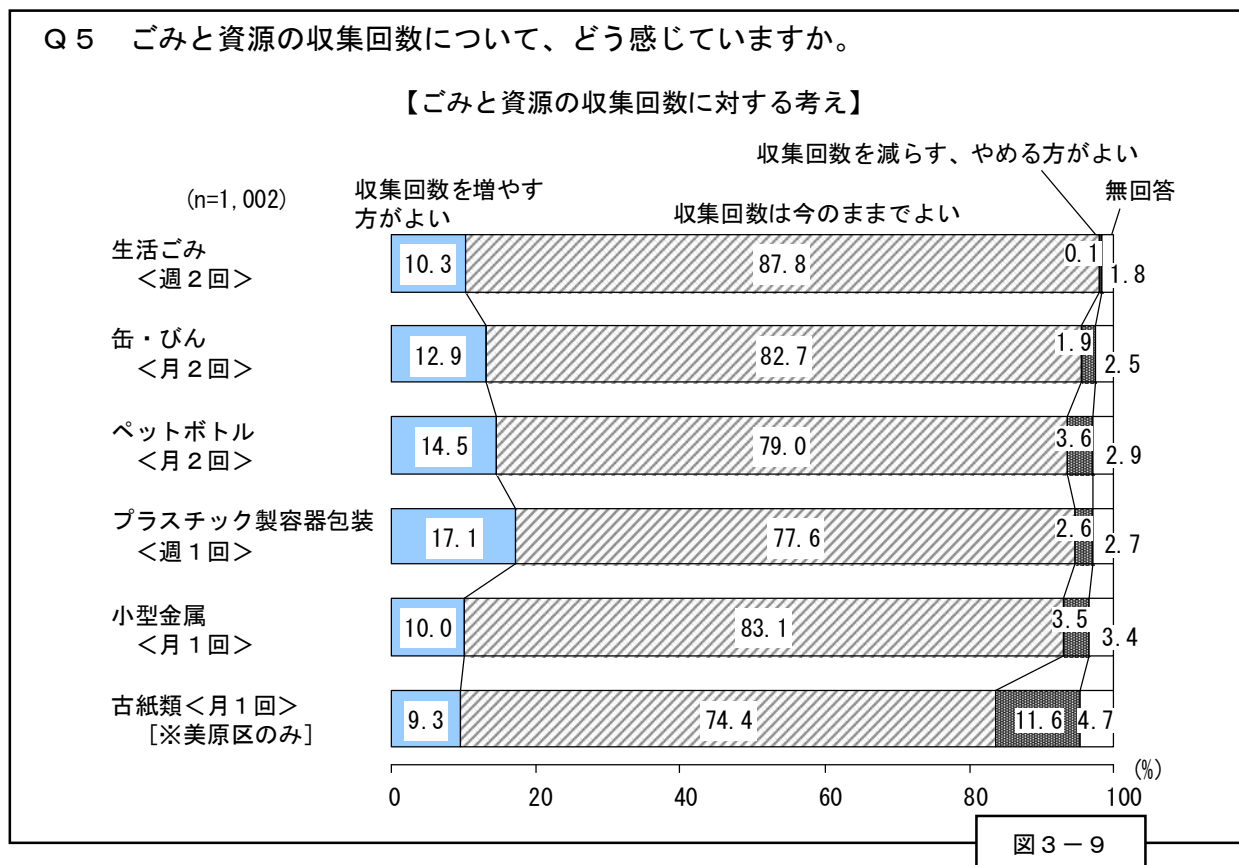


図 3-8-1

(5) ごみと資源の収集回数に対する考え



ごみと資源の収集回数に対する考えについてたずねたところ、いずれの項目も「収集回数は今のままでよい」と回答した人は、7割以上を占め最も多く、特に「生活ごみ」(87.8%)、「缶・びん」(82.7%)、「小型金属」(83.1%)の3種類では8割を超えている。

一方で「収集回数を増やす方がよい」と回答した人は、「プラスチック製容器包装」が17.1%で最も多い。(図3-9)